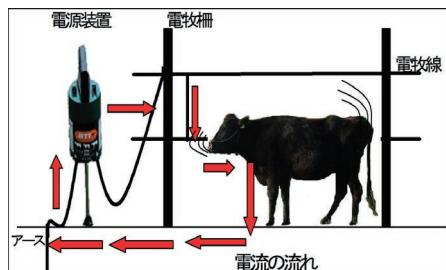


■ どのような牛が使えるの？ ■

肉用牛の繁殖雌牛（妊娠3ヶ月～分娩2ヶ月前）が最も適しています。乳用牛の育成牛及び乾乳牛、肉用牛の育成牛（6～7ヶ月以降）でも可能です。パドックなどを使って野外環境、生草の採食、電気牧柵に馴れさせた後、2頭以上で放牧します。水飲み場、鈹塩、日陰を必ず用意します。また小型ピロプラズマ病予防のため、1ヶ月に1回程度殺ダニ剤を塗布します。



■ 導入費用はどのくらいかかるの？ ■

電気牧柵はイノシシ用電気柵と材質的には同じもので、周囲400m、面積30～40a、電柵線2段張りで1式10～15万円程度です。

■ どのくらいの期間放牧できるの？ ■

放牧地の草の質や量によって変動しますが、だいたい10aあたり2頭で10日間程度が目安です。牛がやせてきたり、人を見るとあわてて近寄ってくるようになってきた場合は餌が無くなった合図なので退牧させます。

■ 管理方法 ■

1日1回以上放牧地を見廻りし、牛の健康と牧柵のチェックを行います。牛の病気や脱柵を防ぐだけでなく、そのように人が行き来すること自体もイノシシの警戒感を高め、侵入を抑える効果があります。

防護柵の鉄則

- 1 ていねいな設置
- 2 こまめな管理（メンテナンス） ←絶対必要
- 3 環境の整備も同時に行う（臆病な性格を利用する）
- 4 早めの対策で、イノシシに学習させる

1 ていねいな設置

- ・防護柵の抜け穴をていねいにふさがないと、柵と地面との間が狙われます。
- ・地面に杭を打ち込みます。カエシがついた杭がいいです。
- ・持ち上げられないように、両隣をきちんとむすびます。

2 メンテナンスが必要

柵の設置は、イノシシ対策の「終わり」ではなく、対策の「始まり」です。設置後に維持管理しないと、効果を維持できません。特に、電気柵の場合は規定の電圧を維持しないと、ただのヒモになってしまうので、漏電防止のためにこまめな除草が必要です。共同で設置したときは、電圧チェックと除草の当番も決めましょう。

3 環境整備も同時に行う

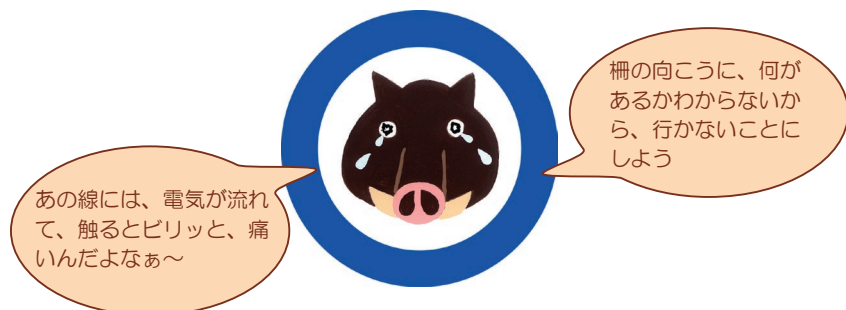
イノシシは臆病な性格なため、隠れ家（森や身を隠すことができる耕作放棄地）から近い田畑が先に被害にあいます。このような田畑は、優先的に柵を設置すべきですが、隠れ家の林縁を伐採し、下草を刈り、見通しを確保することも同時に行うべきでしょう。

⇒ 14 ページ被害にあう田畑、27 ページ見通し確保へ！！

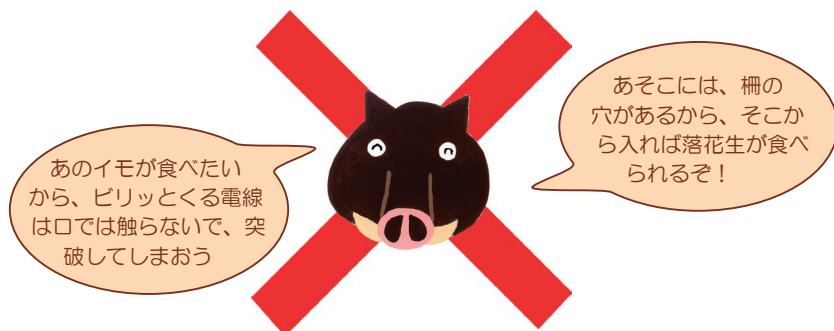


4 早期対策で学習させる

イノシシ（特にメスとウリボウ）が集落に出現しはじめたら、早めに防護柵を設置して、農作物を食べようという気持ちにさせない学習が必要です。（もちろん、防護柵と同時に、その個体の捕獲も忘れずに!!）



逆に、対策が遅れて、農作物がおいしいことを学習させると、イノシシはなんとしても食べようとするので、柵では防ぐことができなくなります。



コラム 夜通しラジオのつけっぱなし、爆音機、オオカミの糞は効くの？

光、音、においは、短期的（数日～数週間）には効果があることもありますが、長期的には効きません。それぞれの個体が数日～数ヶ月の間、ある集落に居つき、突然、ほかに移る生活をしている（5ページ参照）ので、集落に何か異変があると、臆病なために、その個体はしばらく寄り付かなくなります。しかし、光・音・においがあっても、ひとたび「おいしい農作物が食べられる」ことを学習されてしまうと、まったく効果を発揮しません。

■ 電気柵のコツ ■

- 1 一番下の電線は、地上 15～20 cm に張る必要があります。
イノシシは鼻面だけ電気が流れやすいので、鼻があたる位置に電線を張り、30 cm 間隔で上に 1～2 本追加する。
- 2 電気柵はメンテナンスが**必ず**必要です。
電気が通っていないと、ただのヒモになり、一度、イノシシに電気が流れてないヒモだと学習されると、後で電気を流しても突破されることがあるようです。漏電しないように、草刈をこまめに行いましょう。

- ・電線は 15～20 cm に、かならず 1 本
- ・**メンテナンス必須**：電圧が維持されてるか？

電圧チェックは毎週。夏場は月に 2 回の草刈は必要です。

■ ワイヤメッシュ柵のコツ ■

- 1 **必ず**、メッシュを地面に打った杭に堅く結び、左右のメッシュ同士も結束することが必要です。ワイヤメッシュは、線の太さが 6 mm のものを使うこと。細いと溶接が弱く、破壊されます。
(参考文献?)
- 2 ワイヤメッシュ柵に次のような工夫をすると、さらに効果的です

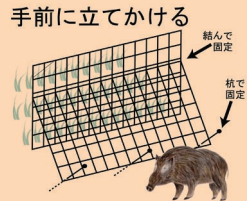
工夫1 地面に埋める

地面との隙間を掘り返して、持ち上げようとするので、柵の下を地面に埋めるといいでしょう。
(ただし、さびて腐りやすくなります)



工夫2 上を曲げる

柵の上部を、外側に曲げておくと、柵を跳び越えづらいことがわかっています。



工夫3 横、たてかけの補強

1 枚のワイヤメッシュだけでは、地面との隙間が空いてしまったり、高さが十分でない場合があります。そのときは、網やもう一枚のワイヤメッシュを立てかけたりして、補強します。柵の外側に、土台を作って平らに置くと、イノシシは足をメッシュに入れたくなくなり、防護の効果がでるようです(グレーチングといいます)。